

にいはま 環境かわら版

2022年3月
第12（最終）号
環境保全課
電話 65-1512

お待たせしました。環境かわら版第12（最終）号です。ロシアがついにウクライナに侵攻しました。世界中の国々が、協力して地球温暖化対策に取り組まなければならないというこの大事な時に……、憤りと悲しみに耐えませんが、早く平和が訪れるよう願うばかりです。それでは今月号ご覧ください。

カーボンニュートラル推進室の設置に向けて！

以前ご紹介しましたが、新居浜市はゼロカーボンシティを表明し、2050年までに市域から排出される二酸化炭素排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）にすることを目指しています。そこで、この目標を達成するため、また、環境・エネルギー政策を強化するため、4月から、新たに環境エネルギー局を置き、専門部署としてカーボンニュートラル推進室を設置します。

ただ、カーボンニュートラルの達成は決して簡単なものではありません。行政・事業者・市民が一丸となって取り組まなければならない大きな課題であり、いずれか一つでも欠ければ、決して達成することなどできません。よく、「何をしたらカーボンニュートラルを達成できますか？」と聞かれますが、私は「今考えられる、ありとあらゆる全てのことを実践して下さい。それでもなお難しい遥かに高い目標です。」と答えます。しかし、一方で、未来の子供たちのためにも、必ず達成しなければならないし、必ず達成できると信じています。

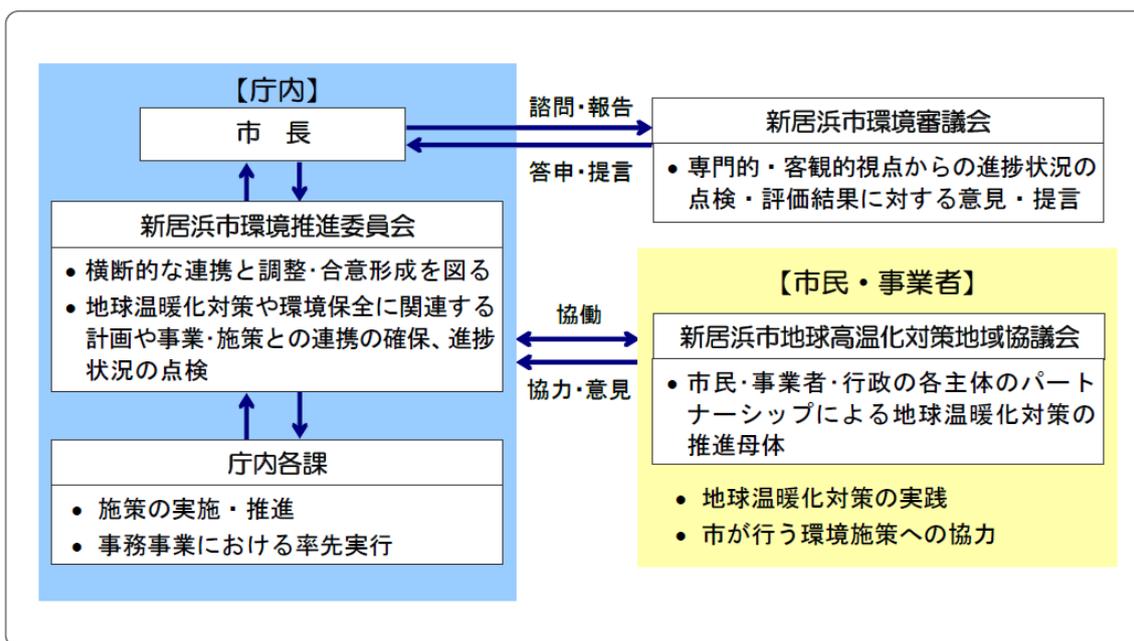
そこで、カーボンニュートラル推進室です。もちろん新しい組織ができたからといって、劇的に変わるわけではありませんが、まずは、行政が率先して、目に見える形で行動することが大事だと考えており、公共施設に積極的に再生可能エネルギーを導入するための調査及び計画の策定を行っていきます。また、ただ導入するだけでなく、蓄電池も併せて設置し、避難所としての機能強化や、余剰電力を有効活用（隣接する他の公共施設へ受給等）する仕組みも合わせて検討していきます。将来的には、市域でエネルギーを地産地消できる仕組みを検討していきますので、期待していてください。（他にもいろんなことを考えていますので、乞うご期待）私たちと一緒にカーボンニュートラルを目指しましょう！

Let's study 地球温暖化

Vol.12

新居浜市地球温暖化対策地域計画その8

お待たせしました。最終回の今回は、計画の推進体制についてご紹介します。本計画に掲げる施策は、環境保全課のみならず、都市計画課、危機管理課、農林水産課、産業振興課、地域交通課、教育委員会など、本市の行政分野の多岐にわたります。そのため、こうした関係部局の庁内における横断的な連携と調整・合意形成を図る場として設置している「新居浜市環境推進委員会」において、各部局の地球温暖化対策や環境保全に関連する計画や事業、施策との連携の確保、進捗状況の点検などを行います。また、市民、事業者、行政の各主体のパートナーシップによる地球温暖化対策の推進母体である「新居浜市地球高温化対策地域協議会」と連携、協働し、同協議会の活動を通じて効果的に計画を推進します。



なお、本計画の取組状況につきましては、年次報告書として、毎年度「にいはまの環境報告書」を作成し、市ホームページで公表していますので、ぜひこちらもお覧になってみてください。

さて、1年間続いてきた連載も今回で最終回となりました。ご愛読ありがとうございました。

【編集後記】

皆さんにご愛読いただいた環境かわら版も、ついに最終回を迎えることになりました。まずは、毎月無事発行できたことにホッとしています。1年間、つたない言葉で、地球温暖化問題を伝え続けてきましたが、皆さんの心に届いたでしょうか？この環境かわら版を通じて、一人でも多くの方が地球温暖化の危機を正しく理解し、一人でも多くの方が、何らかのアクション（行動）を起こしてくれたなら、こんなうれしいことはありません。1年間頑張って書き続けてきた甲斐があるというものです。環境かわら版は、今月号で一旦最後（人事異動もありますし・・・）となりますが、また、いつか、どこかで・・・・。 See you again

(K)